

第 54 回全国隣保館長研修会任務分担

近畿ブロック分科会 6 記録担当

10. 分科会について

(1) 分科会の担当者

	分科会	報告・講師	助言・総括	司会	記録
講座	1. 隣保館活動入門 【新任館長・職員対象】 会場責任：全隣協	中尾 由喜雄 (全隣協常任顧問)		京都府/綾部市 人権福祉センター 物部会館 井上 香 (全隣協常任理事)	全隣協
	2. 考え・発見する隣保館 【社会調査及び研究事業について】 会場責任：春口義信 (九州 B) 尾崎由美 (九州 B)	和歌山県/新宮市 野田隣保館 門脇 輝幸 福岡県/嘉麻市 嘉穂隣保館 橋垣 秀則	福岡県/嘉麻市 嘉穂隣保館 橋垣 秀則 (全隣協副会長)	佐賀県/伊万里市 伊万里市隣保館 藤本 春美 (全隣協常任理事)	九州ブロック 事務局 尾崎 由美
実践報告・交流	3. 支える・寄り添う隣保館 【相談の取り組みについて】 会場責任：中本佳代子 (東日本 B)	新潟県/新発田市 新発田市隣保館 新保 勇三 高橋 加代子 兵庫県/尼崎市 尼崎市立地域総合センター 南武庫之荘 阪上 敏郎	和歌山県/和歌山市 平井文化会館 松本 吉弘 (全隣協副会長)	兵庫県/たつの市 たつの市立 総合隣保館 志水 豊章 (全隣協常任理事)	埼玉県/加須市 田ヶ谷総合センター ●●●●
	4. つながる隣保館 【地域交流の取り組みについて】 会場責任：長尾香織 (四国 B) 西川小百合 (四国 B)	徳島県/徳島市 不動文化会館 森田 茂 大分県/豊後大野市 豊後大野市隣保館 渡邊 久洋 (前徳島県・大分県連合会 大野町支所協議会副会長) 石川 英雄	徳島県/阿南市 新野隣保館 堀崎 正勝 (全隣協副会長)	三重県/津市 白山市民館 谷 広己 (全隣協常任理事)	愛媛県/大洲市 大洲福祉会館 坂田 諭 高知県/香南市 吉川市民館 濱田 知佐
	5. 見守る隣保館 【地域福祉の取り組みについて】 会場責任：小出真一 (中国 B)	山口県/宇部市 宇部市隣保館 上宇部会館 上田 哲司 香川県/東かがわ市 東かがわ市人権センター 大内交流館 河合 千津子	鳥取県/鳥取市 中央人権福祉センター 川口 寿弘 (全隣協常任理事)	香川県/坂出市 西庄文化センター 好井 大輔 (全隣協常任理事)	山口県/岩国市 周東南福祉会館 前川 富美枝
	6. 発信する隣保館 【啓発・広報の取り組みについて】 会場責任：山本繁信 (近畿 B)	福井県/高浜町 高浜町三松センター 嶋田 悠人 島根県/益田市 益田市人権センター 田中 智	福井県/美浜町 小倉会館 竹本 三合一 (全隣協副会長)	島根県/松江市 菅田会館 山本 さなえ (全隣協常任理事)	大阪府・豊中市 人権まちづくり センター 守屋 浩一 (近畿ブロック枠)

第54回 是国隣保館職員近畿ブロック研修会 実施内容

2017年11月8日(水) 会議：解放県民センター光荘

時間	会場等	プログラム	人数	担当者・準備物等
14:00	3F ホール	●第3回研修実行委員会(役員・事務局会議) ※ロの字 【参加】 近プロ役員・府県隣協事務局・府県事務局・ 全体会司会者		(資料) 実行委員会資料 研修会配布資料
16:00	3F ホール	●会場準備 ・資料の袋詰め作業 ・会場設営 ・フォトコンテスト展示 【参加】 実行委員メンバー		(受付)詳細P ●参照 (会場)詳細P ●参照 (資料) ●●部 ・討議資料・参加者名簿 ・アンケート・事務連絡 ・チラシ(隣保館マルシェ) ・封筒 (コスト) 作品 看板 平机(●)
17:00 (予定)		終了 宿泊者はホテルへ移動 →「ホテルテトラ大津」[P●地図参照] ※チェックインは各自でおこなう ※支払は、事務局がおこなう		

2017年11月9日(木) 会場：解放県民センター光荘

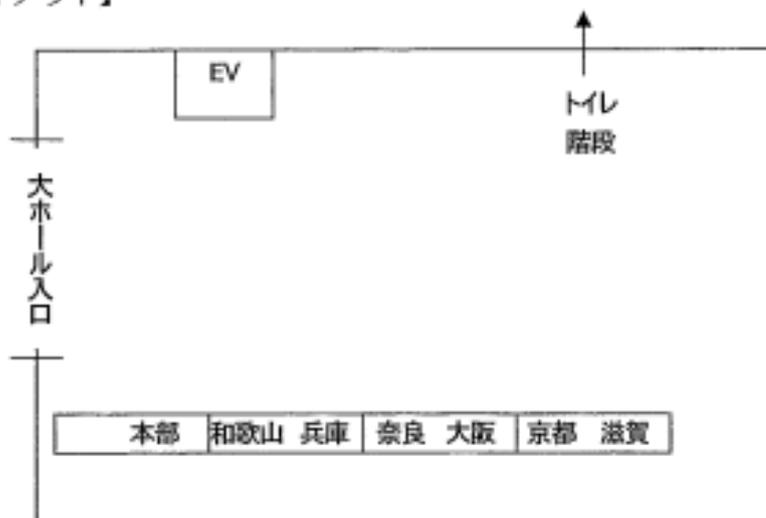
時間	場所・会場	プログラム	人数	担当者・準備物等
9:00	3F ホール	●実行委員集合 ホール集合 ・受付設営(各府県隣協事務局) ・分科会会場設営(役員) ※担当する分科会 【担当】 実行委員メンバー その他 ・司会者打ち合わせ(近プロ事務局)		(会場設営) 看板・懸垂幕・垂れ札[主催・来賓・役員席・表彰者席]・永年勤続表彰説明書・ノートPC・プロジェクタ・延長LANケーブル・HDMIケーブル・レーザーポインタ
9:30	3F ホール前	●受付開始 *フォトコンテスト審査(～13:30まで) ・参加者 → 各府県 ・来賓・隣保事業士(現任以外) → 本部 ※1 表彰行事リハーサルは行わず説明用紙にて対応 表彰該当者は、誘導担当に声をかける ※2 全隣協会長・表彰介添え担当は立ち位置を事前に確認		当日資料、受付名簿、マーカ、領収書、垂れ札(府県・来賓) 参加費徴収袋、お釣り →表彰者誘導(近プロ：中川) ※表彰者は前列指定席へ誘導
9:40 頃	●2F	来賓会場入り 来賓控室へ案内 ※川崎全隣協会長・松本近プロ会長は控室待機		飲み物ペットボトルお茶 →控室誘導係(参与：中尾) (滋賀：逢坂)
9:55		来賓を研修会場へ案内		→誘導係(中尾)

時間	場所・会場	プログラム	人数	担当者・準備物等
10:00	小ホール	<p>開会行事 [5分] 司会 滋賀県隣協 ()</p> <p>◇主催者挨拶 [各5分 10分] 全隣協近畿ブロック協議会 会長 松本 吉弘 全国隣保館連絡協議会 会長 川崎 正明</p> <p>◇来賓挨拶 [5分] 滋賀県 (随行)</p>	123	<p>全体会記録 (近プロ事務局) マイク係 (滋賀:石川) (大阪:竹上) カメラ (近プロ:中川) 会場係 (滋賀:逢坂) (奈良:中崎) (兵庫:福本)</p> <p>*開会行事～記念講演まで担当 →舞台:演台・卓上マイクスタンド・有線マイク 袖机(3)・椅子(10) →司会:司会者卓・卓上マイクスタンド・有線マイク →質疑用:ワイヤレスマイク(1) ※表彰用のマイクも使用</p>
10:20	小ホール	<p>◇永年勤続表彰 [10分] 贈呈者 全国隣保館連絡協議会 会長 川崎 正明 表彰者【 ●人】 滋 賀 : 京 都 : 奈 良 : 兵 庫 : 謝 辞:滋賀 ()</p>		<p>表彰介添 (滋賀:) →賞状筒、表彰盆 →マイクスタンド・ワイヤレスマイク(1)</p>
		来賓退席		
10:30	ホール	<p>◇基調提案 [15分] 全隣協近畿ブロック協議会 副会長 ()</p>		
10:45		休憩/舞台転換 [15分]		
11:00	ホール	<p>◇講 演 [90分] 講師 公益財団法人 滋賀県人権センター職員</p>		→ペットボトル水・紙コップ
		<p>昼休憩 [60分] *フォトコンテスト審査 (～13:30まで) ※昼食会場で弁当券と引き換え</p>		(弁当合計●)
12:30	各分科会会場	<p>◎分科会打ち合わせ会議 対象→分科会任務担当者 ※1 進行は「運営責任者」がおこなう ※2 第1分科会は、講師の指示に従う</p>		<p>分科会資料 【メッシュケース】 名簿・マーカー・ICレコーダー ICレコーダー説明書・電池 墨紙・垂れ札</p>
13:30		<p>◇分科会 [2時間45分] *休憩含む P●の各分科会の時間配分(案)・会場設営等参照</p>		

時間	場所・会場	プログラム	人数	担当者・準備物等
		第1分科会 隣保館活動入門【新任館長・職員対象】 講師：中尾由喜雄（全隣協常任顧問） 司会： 記録：全隣協事務局 会場係：		→ホワイトボード
		第2分科会（実践報告・交流） 「支える・寄り添う隣保館」 報告①：（滋賀県） 報告②：森口哲生（京都府宮津市杉木会館） 運営責任： 司会： 記録： 会場係：		→ノートパソコン（ ） プロジェクタ（ ） スクリーン（ ） 延長ケーブル（ ）
		第3分科会（実践報告・交流） 「つながる隣保館」 報告①：坂上敏郎（兵庫県尼崎市立地域総合センター南武庫之荘） 報告②：佐藤純子（和歌山県御坊市藤田会館） 運営責任： 司会： 記録： 会場係：		→ノートパソコン（ ） →プロジェクタ（ ） スクリーン（ ） 延長ケーブル（ ）
		第4分科会（実践報告・交流） 「見守る隣保館」 報告①：平野晃之（大阪府茨城市立沢良宜いのち・愛・ゆめセンター） 報告②：早瀬文雄（奈良県奈良市中人権文化センター） 運営責任： 司会： 記録： 会場係：	22	→ノートパソコン（ ） →プロジェクタ（ ） スクリーン（ ） 延長ケーブル（ ）
16:15		アンケート記入/回収		分科会会場係
16:30		分科会終了/分科会担当者全員で会場の片付け 片付け終了後、 ※1 会場係は、回収したアンケート用紙をメッシュケースに入れる ※2 その他の分科会担当者は使用備品を確認する → 3階一階前へ本部事務局へ渡す		
17:00		実行委員集合		

受付 3階「ホール前」

【受付レイアウト】



【任務分担】

- 担当者：参加者 → 府県隣協事務局 / 来賓・隣保事業士 → 近プロ：中本
永年勤続表彰者座席誘導 → 近プロ：中川 / 来賓誘導 → 中尾参与・滋賀県：逢坂
- 責任者：近プロ：中本

【準備物】

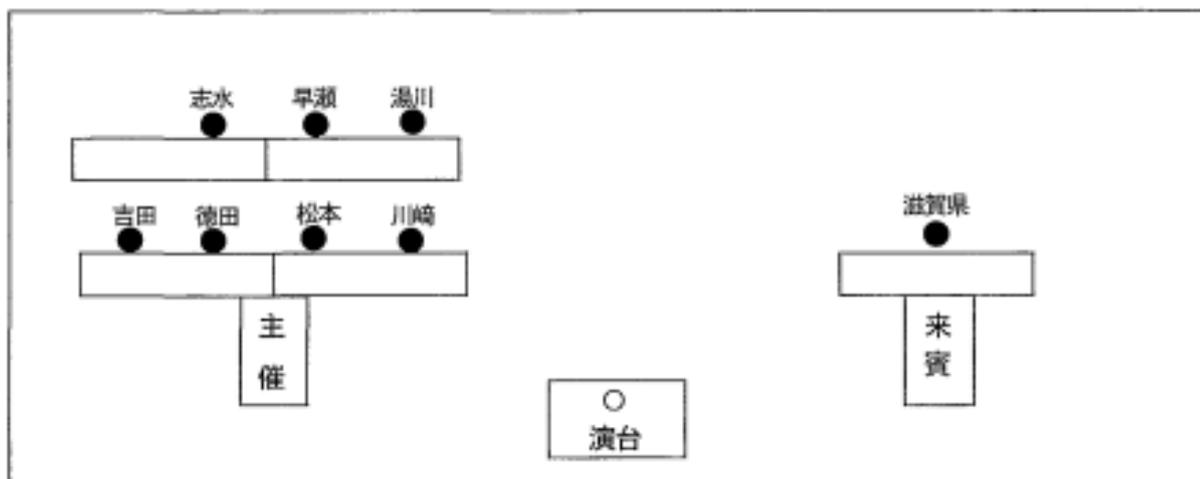
- 平机4卓・椅子 《ホール内から搬出》
- 垂札（6府県名、来賓）・資料・受付名簿・ラインマーカー・領収書・参加費収納袋
- 弁当引き換え券・表彰者リボン

【任務内容】

- 受付
 - * 受付は、府県ごとにおこない、府県隣協事務局が任務にあたる。
 - * 任務内容について
 - ①参加者の確認 ②参加費・弁当代徴収（当日支払いの方）
 - ③資料の配付 ④領収書の発行 ⑤弁当引換券の配布（申込者のみ）
 - ⑥フォトコンテスト一次投票用紙（案内）
 - * 完了後、受付名簿・徴収した参加費収納袋（金額を確認）を責任者に渡す。
 - * 10:00に受付を一本化し、参加者の集約をおこなう。
- 永年勤続表彰者誘導
 - * 該当者が各府県受付をした後、誘導係に声をかける。
 - * 該当者を全体会場座席（開会行事のみ着席）へ案内。→誘導係（近プロ：中川）
 - * 「表彰行事の流れについて」（P●）進行説明書を確認するよう伝える。
- 来賓誘導
 - * 各来賓は9:45頃会場入り。来賓受付後、控え室に案内する（控え室：2階●●）
 - * 開会の約3分前に全体会場へ案内する。

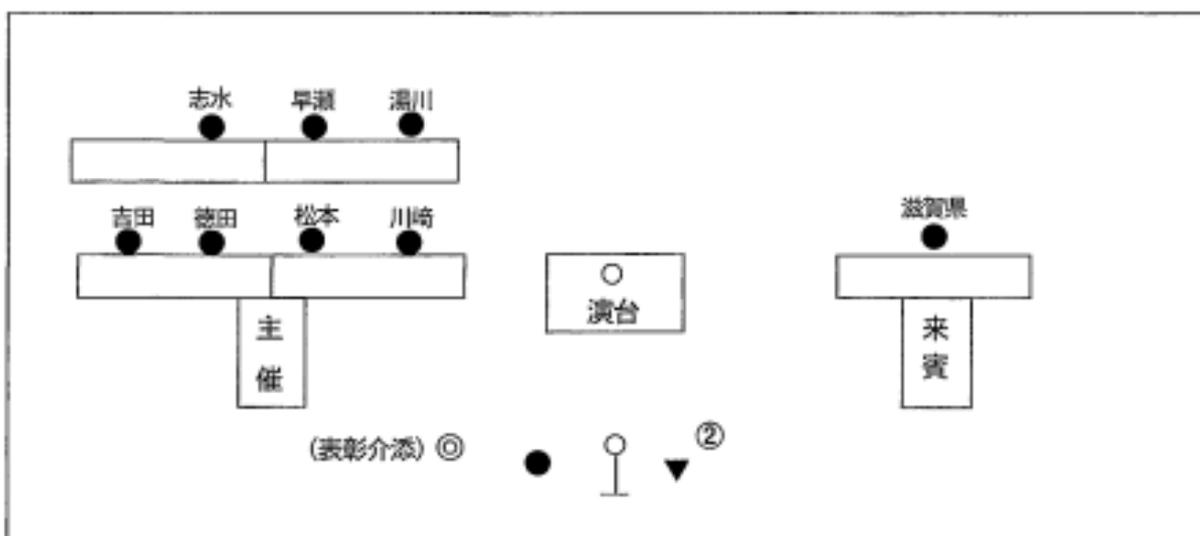
【舞台レイアウトの転換】

主催・来賓あいさつ (10:00～)



主催・来賓挨拶終了後、演台を後方へ移動

永年勤続表彰式 (10:20～)



※表彰者は舞台前に整列。名前を呼ばれたら①登壇し②スタンドマイクの前へ。
③表彰後は、降壇し元の位置へ

【使用備品】 スタンドマイク・ワイヤレスマイク・表彰盆・賞状

(ワイヤレスマイクは、会場前方(舞台に向かって左側)の机に置いてあります。)

【表彰行事任務担当】 表彰授与者 → 全隣協会長：川崎 正明

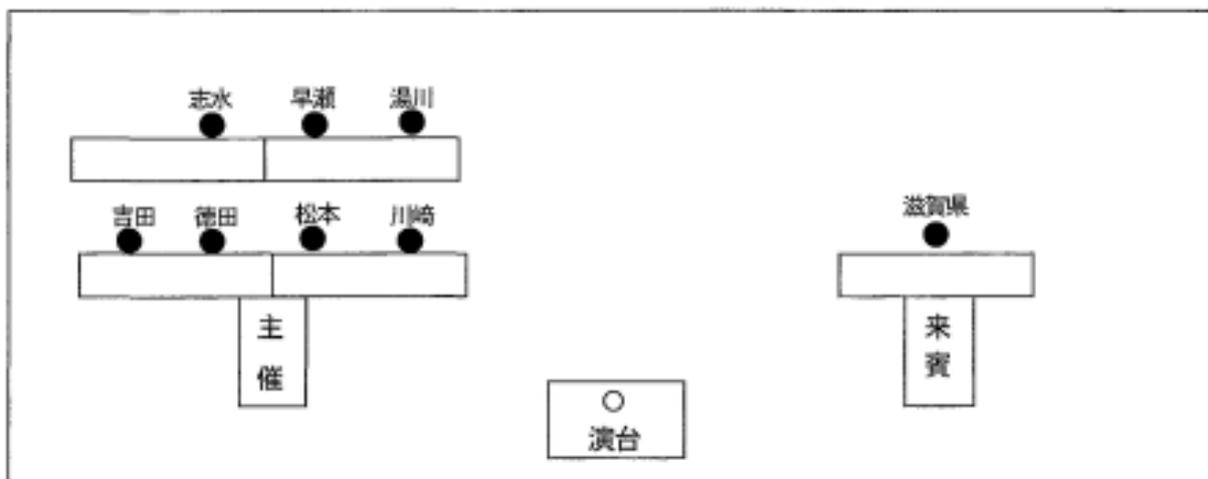
表彰介添 → 滋賀県センター連協：

【謝辞】 開催県 滋賀県表彰者 → ()

基調提案 (10:30~)



スタンドマイクを舞台下に移動
演台を元の位置に戻す

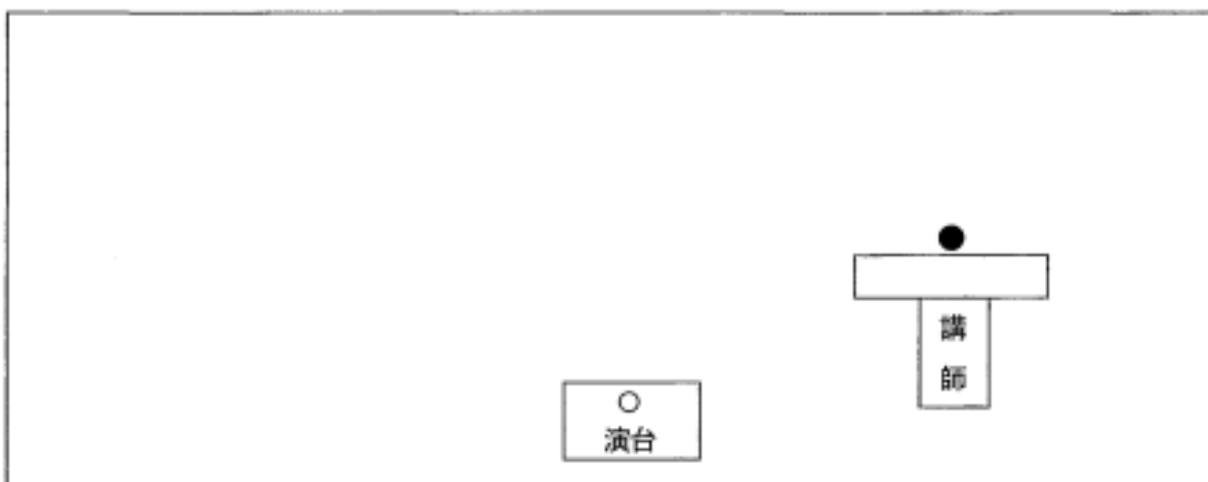


【準備物】



演台・来賓机・椅子脚を残し
他は上手・下手へ移動

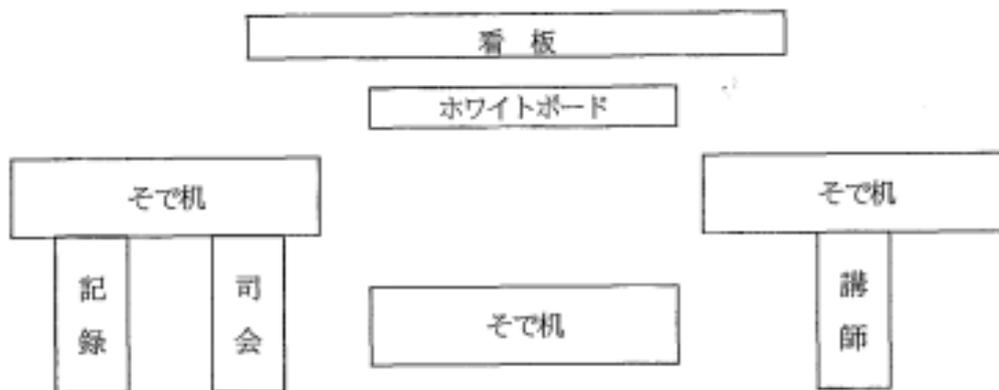
記念講演 (11:00~12:30)



※マイク係は、各プログラム終了後、質疑に備え待機（時間が無い場合は質疑割愛）
（ワイヤレスマイクは、会場前方（舞台に向かって左側の平机に置いてあります。）

【準備物】 ミネラル水（ペットボトル）・紙コップ

第1分科会（講演）



【時間配分（案）】

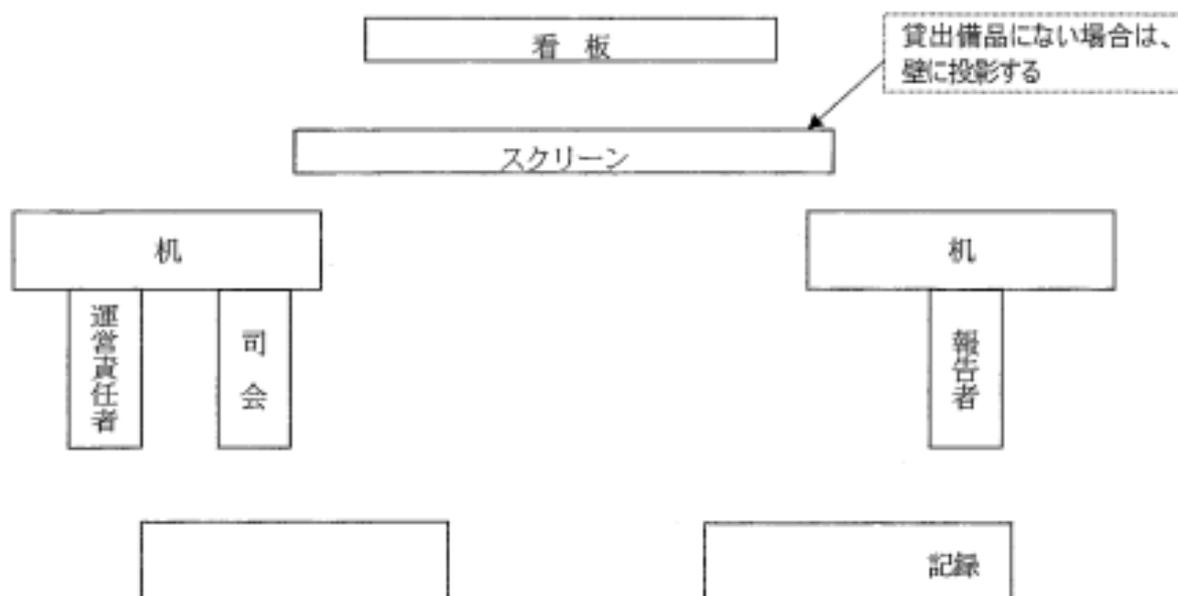
- 13:30～13:35 分科会担当者自己紹介／分科会研究討議テーマ・ねらいの確認／講師の紹介
- 13:35～16:10 講演（質疑応答含む）
- 16:10～16:15 まとめ（司会）
- 16:15～16:30 アンケート記入
- 16:50 退室 ※参加者退室後、分科会運営者で片付け

【必要備品】 机（人数分）／イス（人数分）／ホワイトボード（1）／緑の掲示板（1）
ワイヤレスマイク（2）

【会場設営の確認】

- ① 机・椅子等の設営及び閉会後の復元作業は、分科会担当者が行う。
※会場設営スタイルは、スクール形式。（P●ページ会場平面図を参照）
- ② 看板は、●●掲示板に貼付する。
- ③ 受付場所を廊下に設置する。

第2～4分科会（実践報告・交流）



【時間配分（案）】

- 13:30～13:35 分科会担当者紹介／分科会研究討議テーマ・ねらいの確認
- 13:35～14:05 実践報告①（30分）
- 14:05～14:35 実践報告②（30分）
- 14:35～14:50 休憩（15分）
- 14:50～16:00 実践報告に対する質疑応答・意見交換
- 16:00～16:15 まとめ（運営責任者：課題と成果を明らかにすること）
- 16:15～16:30 アンケート記入
- 16:50 退室 ※参加者退室後、分科会運営者で片付け

【必要備品】 机（人数分）／椅子（人数分）／

ノートPC／プロジェクタ／スクリーン／延長ケーブル ←下線は、使用する場合

【会場設営の確認】

- ① 机・椅子等の設営及び閉会後の復元作業は、分科会担当者が行う。
※会場設営スタイルは、スクール形式。（P●ページ会場平面図を参照）
- ② 看板は、●●に貼付する。
- ③ 受付場所を会場入口に設置する。

※●●は、マイクが使用できません。

【分科会の任務について】

(1) 任務内容について

【実践報告者】

- ① 報告時間は、25分とする。
- ② 分科会討議の柱にしたがい報告する。

【運営責任者】

- ① 質疑・意見交換の整理、問題提起をおこなう。
- ② 最後に、分科会のまとめとして意見交換の成果や課題を明らかにする。
- ③ 意見交換がとぎれたら、発言を促す方向で適宜助言する。

【司会】

- ① 司会者(記録者)・報告者・運営責任者の(自己)紹介をする。
- ② 自発的に意見交換がされるよう促す。
- ③ 今後の隣保館のあり方、役割等を含めた内容で分科会を進める。
- ④ 発言する際は、所属府県、隣保館名、氏名を述べてから発言するよう周知する。
- ⑤ 終了時刻は、16:15を目途に進行する。(その後、アンケート記入時間を15分設ける。)

【記録】

- ① 分科会内容をICレコーダーに録音する。(※ICレコーダー、電池、記録用紙は本部事務局が準備する)
- ② 進め方、内容などをまとめる。
- ③ 記録原稿の作成要領及び提出先については、以下、“(2)記録原稿のまとめ(音声のおこし)”について”を必ず確認すること。
※ICレコーダーは会場係に預け、一度返却すること。
→ 後日、近プロ事務局より記録を保存したCDを郵送する。

【会場係】

- ① 報告者からの指示や参加者からの要望(空調の設定変更等)に対応をする。
- ② アンケートの回収をおこなう。
- ③ アンケート・ICレコーダー等をメッシュケースに入れて、使用備品と併せて本部事務局へ返却する。(1階 第3会議室へ)

(2) 記録原稿のまとめ(音声のおこし)について

- ① 発言者については、府県名のみ記載してください。
- ② ICレコーダー等、記録に必要な備品については、事前に分科会会場に準備。
- ③ 記録の提出について

・提出期限：2017年 12月 8日(金) 必着

・提出先：全隣協近畿ブロック協議会事務局

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館3階

TEL：06-6711-0356 FAX：06-6711-0357

E-mail：zenrinkyou20@rinpokan.com

・提出方法：メールまたはCDに保存し上記宛先までお送りください。

④ 作成要領

用紙サイズ：A4用紙／文字行数：45字×45列／余白：上下左右とも25mm

フォントサイズ：10.5ポイント／書体：MS明朝／文体：～です。～ます。

※ 報告書へは報告原稿も掲載致します。原稿通り読み上げての報告の場合は、テープ起こしをおこなう必要なし。

※ 原稿以外の報告内容・質疑応答は必ず起こし、内容をまとめること。

【分科会任務分担一覧】

運営責任・司会 → 正副会長 / 記録 → 幹事

分科会	講師／報告	運営責任者	司会	記録	会場係
第1分科会 (講演) 隣保館活動入門	全隣協常任顧問 中尾 由喜雄		(近プロ役員) 松本	5ブロックで 内容を統一 全隣協でおこなう	山本
第2分科会 (実践報告・交流) 支える・寄り添う 隣保館	報告① 滋賀県 報告② 京都府 宮津市杉未会館 森口 哲生	(近プロ役員) 徳田	(近プロ役員) 吉田	(近プロ役員) 岡井	
第3分科会 (実践報告・交流) つながる隣保館	報告① 兵庫県尼崎市立 地域総合センター 南武庫之荘 坂上 敏郎 報告② 和歌山県 御坊市立藤田会館 佐藤 純子	(近プロ役員) 志水	(近プロ役員) 切本	(近プロ役員) 鈴木	金尾
第4分科会 (実践報告・交流) 見守る隣保館	報告① 大阪府茨木市立 沢良宜いのち・愛・ゆめ センター 平野 晃之 報告② 奈良県奈良市 中人権文化センター 早瀬 文雄	(近プロ役員) 湯川	(近プロ役員) 中川	(近プロ役員) 守屋	平松

第13回全隣協近畿ブロック女性職員研修会・第15回全国女性職員研修会

第13回全隣協近畿ブロック女性職員研修会・第15回全国女性職員研修会 開催要綱(案)

1 趣旨・目的

- (1) 昨年12月、「部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)」が施行されたことを踏まえ、隣保館が部落問題解決に資する施設であることを再確認し、この法律を隣保館でどのように活かし事業を展開していけばいいのかを考える。
- (2) 隣保館で働く女性職員の資質を高め、隣保事業の充実と活性化を図るため、各地域の取り組みを報告し交流を深めるとともに、各隣保館の実践につなげる。

2 主催

全隣協近畿ブロック協議会 / 全国隣保館連絡協議会

3 共催

和歌山県隣保館連絡協議会

4 期日・場所

(1) 期日 2018年1月25日(木)～26日(金)

(2) 場所 南紀白浜「ホテルシーモア」

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1821 TEL 0739-43-1000

5 参加対象

- ・隣保館女性職員(隣保館運営審議会委員等の隣保館関係者を含む)
- ・隣保館と連携する関係女性職員(児童館・教育集会所等の関係施設)
- ・府縣市町関係職員
- ・近畿ブロック各府県隣協役員・事務局
- ・広域隣保活動事業を実施している府県、市町村関係職員
- ・隣保事業士及び隣保事業士資格認定講習を受講したいと考えている方

6 研修日程・内容

【1月25日(木) / 第1日目】

- | | |
|-------------|---|
| 13:30～ | 受付 |
| 14:00～14:30 | 開会行事(主催者挨拶:近畿ブロック協議会・全国隣保館連絡協議会)
(来賓挨拶:厚生労働省・和歌山県・白浜町) |
| 14:30～16:30 | シンポジウム「『部落差別解消推進法』施行から一年、それぞれの思い」 |
| 16:30～16:40 | 事務連絡 |
| 16:40～17:30 | 休憩 |
| 17:30～19:30 | 情報交換交流会(人権バンド「ブリッジロックいわせ」公演) |

【1月26日（金）／第2日目】

- 7:00～9:00 朝食
9:00～11:30 分科会
11:30～11:45 移動・休憩
11:45～12:00 閉会行事

シンポジウム 「『部落差別解消推進法』施行から一年、それぞれの思い」

- コーディネーター 奥田 均さん（近畿大学人権問題研究所教授）
パネラー []さん（和歌山県企画部人権局）
[]さん（和歌山県福祉保健部福祉保健政策局）
[]さん（部落解放同盟和歌山県連合会）
松本 さか恵さん（和歌山市立岩橋文化会館）
川崎 正明（全国隣保館連絡協議会 会長）

分科会 第1分科会「隣保館活動入門」

講師 中尾由喜雄（全隣協常任顧問兼事務局長）

第2分科会「部落差別解消推進法とこれからの隣保館」（志田文雄）

講師 []

第3分科会「にしなり☆子ども食堂の取り組みについて」

報告 川辺康子さん（大阪府：にしなり隣保館 ゆーとあい）

第4分科会 []

報告 近プロ管外の隣保館 ()

7 参加費・参加申込について

【参加費】

資料代 3,000円

参加負担金 12,000円（情報交換交流会費 5,000円／宿泊費 7,000円）

【参加申込】

- (1) 参加申込書に必要事項をご記入の上、1月●日（●）までに各府県隣協事務局へお申込みください。（※各府県隣協事務局は、参加者名簿を取りまとめ1月●日（●）までに全隣協事務局へ提出してください。）
府県隣協組織がない県は、全隣協事務局へお申込ください。
- (2) 申込み後の変更・キャンセルについては、1月●日（●）まで受け付けます。
期日以降のキャンセルについては、取消手数料が発生します。詳細は事務局までお問い合わせください。
- (3) 宿泊について
 - ①部屋は、4～5名の相部屋となります。
 - ②宿泊部屋は禁煙とします。